

## 先輩職員インタビュー

富山支所 支所長

1999年入構



### ナスバだからこそできる被害者援護業務

—業務の役割を教えてください。

ナスバは全国で同じ業務を実施しておりますので、私自身は富山県内に在住の自動車事故により脳や脊髄に重度の損傷を受けられてご自宅で介護されている方への支援や、バスやトラック運送事業者の方への事故防止の支援を行っています。

支所長という立場でありますので対外的な面では富山県内のナスバ代表として会議への出席や講演依頼等もございます。支所の運営全般が役割となります。



—管理職として意識していることは何ですか。

自分自身が支所長として2年目なのでまだまだ勉強中というところではあります。

今までは自らが動かなければいけないと思っていましたが、部下職員に「任せる」ということを意識しなければいけないと思っています。自主的に考えて動けるようになると仕事は楽しくなってくるものということが自分の経験上は感じていますので、積極的に自らがやりたいことを意見してもらえるように心がけています。



寄り添うナスバ 頼れるナスバ

—やりがいは何ですか。

どんな仕事でもそうかもしれませんが、誰かのために何かをすることが喜びになります。

支援をすることが仕事なので感謝を直接伝えていただけることもあります。少しでも目の前の方のお役に立つことができたと思えることがやりがいに繋がります。

ーナスバに向いていると思う人はどんな人ですか。

自分自身は車とバイクが好きだったので、志望したきっかけは好きなもので不幸になる人がいなくなると良いなという漠然としたものでした。いざ入構してみると様々な業務があり仕事内容、勤務場所も含めてたくさんの経験をさせてもらい、たくさんの仲間と出会うことができました。周りの助けもあり、ここまでやってきたかなと思いますので特別な向き不向きはないと思います。現状を受け容れて、その場その時を充実させることができることが大切かなと思っています。

ー将来の目標を教えてください。

自分たちの組織のことで恐縮ながらナスバの業務はとてもお役に立てる良いことをしていると思っています。しかしながら、今このページをご覧いただいている方でも初めてナスバを知ったという方もいるかもしれません。「ナスバ」という名前を聞いて「あのナスバだね」とたくさんの方々へ知ってもらえるようになることです。

## 自分の「可能性」と「夢」を見つめて



ー最後に学生の方に向けてメッセージをお願いします。



昔に比べて現在は転職することにも抵抗がなくなってきているとはいえ、どのライフステージにおいても自分自身が働く職業を決めるということは人生において大きな決断になるでしょう。

数ある職業の中からナスバを選ぶということは、誰かの役に立ちたいと思う方にとって、希望に沿うものになると思います。

ナスバと一緒に働きましょう。

### 自己紹介

元々車もバイクも好きなので、休日に暇があれば出かけることが好きです。

家で動画等を観て過ごすのも好きですが、何もしないで終わってしまったなあと感じるので温泉などの目的地を探しては出かけています。



## 先輩職員インタビュー

名古屋主管支所 次長

2000年入構



### ナスバだからこそできる仕事

ー業務の役割を教えてください。

名古屋主管支所管内(愛知・静岡・岐阜・三重・福井)のコンプライアンス確保と職員に対する人材育成に関する業務を行っています。なお、この業務の最終的な目的は、管内で働くすべての皆さんが「楽しく、生き生きと働ける職場」となることを考えています。

具体的には、支所に伺って職員面談等から、相談事や意見要望を聞いて回り、業務改善のアドバイスやトラブル等の対応をしています。

また、業務に対する不安を聞き取り、自信を持って仕事に臨めるよう、必要な知識や技術を身につけるための研修等を企画・実施するなど、教育活動を行っています。

ー管理職として意識していることは何ですか。

ナスバには、中途採用職員、国の交流職員、嘱託職員、非常勤職員と様々な方が在籍しています。

出所が異なれば知識や技術、考え方が違うのが当然ですので、お互いが尊重し助け合える職場となるよう意識しています。

そのために、職員の皆さんの良い聞き役となることを努めていますが、最近、他の職員から「〇〇さんが、元気がなさそうなので話を聞いてあげてください」という相談を受けることも増えてきました。

管内全体を見て、各支所長と連携しつつ、お互いが支援し合える職場を目指しています。



寄り添うナスバ 頼れるナスバ

ーやりがいは何ですか。

適性診断の受診者やコンサルの依頼者、介護料の受給者やそのご家族など、業務の相手から感謝の言葉をいただくことに、やりがいを強く感じています。また、現在の業務では、職員の人材育成が、特にやりがいがあります。どんな職員にも得意不得意はありますが、苦手をサポートをすることで、仕事の幅が広がっていくのを実感できるのが、うれしいです。

—ナスバに向いていると思う人はどんな人ですか。

ナスバの仕事の基本は「人の話をちゃんと聞けること」です。新採職員の皆さんには、研修として「産業カウンセラー養成講座」を受講していただき、ヒヤリングの基本を学んでもらっていますが、そのような技術だけでなく「相手を尊重し、真剣に話を聞く」心構えを持てる人が、ナスバの仕事に向いていると思っています。

キャリア30年超のベテラン運転者、安全指導に悩んでいる担当者、事故で重度の障害を負った方、そのご家族、ご遺族など、様々な人と話をする機会があります。運転者から「安全運転の秘訣」教えてもらったり、また、被害者の方やご家族から「つらい心情」を涙ながらに伝えられることもあります。そういった方々と信頼関係を築くことは、責任感も伴いますが、仕事のモチベーションにつながります。

## 自分の「可能性」と「夢」を見つめて



—将来の目標を教えてください。

ナスバでの仕事を楽しく続けてこれたのは、目指すべき先輩職員の姿があったからだと思います。

たまたま人材育成を担当するポジションにいますが、別の役職に移った後も見本となる職員でいられるよう努めていきたいです。

また、自ら「ナスバは運送業界では知名度100%だけど、一般の人の知名度は0%」などと皮肉を言うこともあります。もっと世間に知られる組織になることも目標の一つです。

—最後に学生の方に向けてメッセージをお願いします。



企業での講師派遣の様子

仕事を行う大きな目的は、もちろん、経済的な安定を求めるためです。

ただ、それだけではなく、仕事から得られる意義や充実感があります。

意義や充実感は一それぞれだとは思いますが、私がナスバの業務を行う中で、強く感じているものは「日々成長」と「社会貢献」です。

独立行政法人であるナスバは、一般的な企業と比較すると、かなり限定的な仕事を行っていますが、日々の業務に興味を持って臨むことができれば、飽きのない、やりがいのある仕事と思います。

### 自己紹介

大学まで、東京都立川市で過ごしていましたが、ナスバに入構後、神奈川支所と新潟主管を経て、希望して名古屋主管に転勤し、現在は三重県津市在住です。

夫婦共働きの4人家族ですが、家族全員がインドア派なので、全員が揃った休みも、ボードゲームなどをして、家でずっと過ごすことが多いです。

また、海の近くに住んでいるので、シーズンごとにハゼ釣りや貝捕りをしたりしています。



ウナギ捕りをしているところ



## 先輩職員インタビュー

本部 総務部

コンプライアンス推進・人材開発グループ

マネージャー

2011年入構



### 自動車事故対策のプロフェッショナルを育てるために

ー業務の役割を教えてください。

ナスバの使命は「被害者支援と自動車事故防止を通して、安全・安心・快適な社会作りに貢献する」であるため、コンプライアンス違反等が発生しないクリーンな組織でなければならないと考えております。当グループでは、ナスバにおいて自然とコンプライアンスが徹底されるとともに、自動車事故対策のプロフェッショナルが育つ環境を構築するため、他の部署と連携して研修や人材育成の仕組み作り等を実施しております。

ー管理職として意識していることは何ですか。

「成果を出して組織へ貢献できることと、メンバーが安心して仕事ができる環境を作れる管理職になりたい」というのが私の理想です。大変未熟者ですが意識していることは、「速やかに決断する」「ビジョンは共有する」「メンバーをフォローする」「みんなに感謝する」「ユーモアを持つ」等々ありますが、一番大事にしていることは、やはりコミュニケーションです。

相手の話をよく聴き、情報を共有し、健康状態やプライベートの悩みも安心して相談できる存在になれるよう、他の管理職の方々の良いところを取り入れたり、勉強したりして日々研鑽しております。



### 社会にとって 寄り添うナスバ 頼れるナスバ

ーやりがいは何ですか。

どの業務も社会に貢献できるためやりがいはありますが、今の業務の最大の魅力は、多くの職員の成長に携わることができること、そして新たな取組みにチャレンジできる機会が多いところだと思っております。



## ーナスバに向いていると思う人はどんな人ですか。

ナスバは様々なスキルや個性を活かすことができる職場だと思っておりますが、特に次のいずれか1つでも該当する方はナスバに向いていると思います。

- 人の役に立つことでやりがいを感じる方
- 公的機関で働くことに誇りを持つ方
- 交通事故を減らしたいとの思いを持っている方
- 社会への貢献欲求がある方
- コミュニケーションスキルを発揮できる職場を探している方

## 大義ある組織の誇りを胸に



## ー人材育成への取組について教えてください。

ナスバは人材育成を重視しており、主な研修だけでも30種類以上、Eラーニングを含めると40種類以上の研修等があります。

新たに採用になった方には、まず入構後すぐに東京にある本部で4日間採用職員研修を受講していただき、その後各配置先にて上司や先輩職員からOJT等で具体的な業務について学んでいただきます。

また、担当する業務等に応じた研修や昇任のタイミング、資格取得のための研修等を実施しております。

## ー最後に学生の方に向けてメッセージをお願いします。



皆さんは独立行政法人についてどのようなイメージがありますか？

私たちナスバの使命は「安全・安心・快適な社会作りに貢献すること」です。

私は社会貢献にまっすぐに取り組むことができる素晴らしい職場だと誇りを

持っております。皆さんと一緒に仕事ができることを楽しみにしております。

### 自己紹介

休日は3人の子供と遊ぶことが多く、最近は週に1回はプールで子供を遊ばせつつ、自分も水泳で体を鍛えています。また、映画鑑賞も趣味なので週1回は妻と映画を楽しんでおります。

